第２回今帰仁村幼保連携一体化総合整備計画

子ども子育て会議　議事概要

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 日時 | 平成27年10月14日（水）  ９：30～11：30 | | 場 所 | 今帰仁村保健センター  集検ホール | |
| 出席者 | 委　員　長  副委員長  委　　　員  委　　　員  委　　　員  委　　　員  委　　　員  委　　　員  委　　　員  委　　　員  委　　　員  委　　　員  委員  委員  委員 | 重畠　泰代  名城　健二  玉城　奎  大城　清紀  謝花　隆太  上野　加威  座間味　邦昭  糸洲　智子  田港　朝津  島袋　るみ子  与那嶺　成江  運天　亜矢子  伊禮　正昭  玉城　イチ子  新城　敦 | 今帰仁村教育委員会  沖縄大学准教授  今帰仁村幼稚園長会長（欠席）  今帰仁村副村長  今帰仁村幼稚園保護者代表（欠席）  今帰仁村保育所保護者代表  今帰仁村学童代表  北山保育園長（欠席）  今帰仁村学校教育課（欠席）  今帰仁村幼稚園代表  今帰仁村保育所長会代表  今帰仁村母子保健推進委員代表  今帰仁村民生委員主任児童委員（欠席）  今帰仁村次世代育成支援行動計画策定員代表  今帰仁村教育長（欠席） | |
| 事務局：宮里　晃、大城　幸恵、仲松　海人 ／幼保連携推進室 | | | | |
| コンサルタント：小柴　晃、成田　大作、川上　貴弘、新垣　鈴 ／ ㈱都市科学政策研究所 | | | | |

|  |  |
| --- | --- |
| 配布資料 | ○第２回子ども・子育て会議　会次第  ○第２回子ども・子育て会議資料  ○子ども子育て会議（第１回幼保連携部会）議事概要  ○第１回子ども子育て会議　議事概要 |

|  |  |
| --- | --- |
| 策定委員会の主な内容 | ○保育所、幼稚園を取り巻く今帰仁村の現状等の整理  ○認定こども園整備計画  ○保育所民営化計画  ○その他 |

○議事概要

|  |  |
| --- | --- |
| 與那嶺　委員 | 今後のＷＳについては、保育プログラムの内容に関して時間を掛けて検討していきたい。 |
| 事務局（宮里） | 認定こども園には、保育と幼稚園の資格の保持が求められることから、保育教諭が配置される。そのために、幼稚園教諭の資格を保持しており更新されてない方は、資格の更新を受けてもらう。その間の保育については、持っている資格に応じた職員の配置を行い整備していく。また、認定こども園保育指針要領もあるので、それを踏まえていく必要がある。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 座間味　委員 | 村立保育所の職員について、認定こども園では正職員数が５割以上を占めることになると思われるが、人件費として今後、村の財源で運営できる保障があるのか。また、運営が厳しくなり職員の給与が減ることや臨時職員で対応していく場合に、保育の質が低下する可能性があるため、保育の質の低下を防ぐ対策を行って欲しい。 |
| 事務局（宮里） | 現在は、退職する人の分の職員は補っているが、今後は、職員が足りないという状況になることも予測される。今のところは、認定こども園の整備や運営を進めながら保育の質の低下を防ぐ対策を検討していく。 |
| 委員長 | 小学校に併設された保育所や認定こども園について、他に実施している所はあるのか。  疑問点として、保・幼の連携はできているが、小学校との連携は初めての事例であるため、うまく連携できるのか心配である。また、北山プロジェクトなどでも詳しい理想や制度を設定していくべきではないかと思う。 |
| コンサルタント  （小柴） | 県内で認定こども園を運営している事例はほとんどない。県外はあると思われる。実際の教育現場では、小学生と保育園との交流があり、今後、認定こども園になると日常的に保・幼と小学校の連携が図れることになる。そのため、指針のプログラムの内容を整備していくことになる。 |
| 島袋　委員 | 校長先生によって連携や体制の考え方が異なる。そのため、統一した考えを明確することと保・幼と小学校の連携が図れる体制づくりが必要である。 |
| 與那嶺　委員 | 小学校と保育、幼稚園とのプログラムが異なるため、そのすり合わせが必要である。また、行政でも今帰仁村の教育ビジョンをしっかりと立てて欲しい。 |
| 副委員長 | ０～小学生まで同じ敷地で運営する認定こども園について、県内には事例がないと思う。しかし、私立の学校法人では保育園から大学まで同じ敷地にある所がある。そこでは、協調性を保ちつつ独自性を残すような教育が行われている。従って、お互いにすり合わせをしつつ、区別する所を分けて行う必要がある。事例として、ある大学では保育所やデイサービスを運営している所がある。 |
| 事務局（宮里） | 認定こども園と小学校について、すり合わせを行い、近すぎず遠すぎずの関係を確保したい。また、保育内容について、11月28、29日に講演会と勉強会を２日間予定している。 |
| 副委員長 | 民営保育園の公募について、公募は村内、村外から参入してくる見通しはあるのか。 |
| 事務局（宮里） | 平成26年に、北部地域で経営されている方と那覇からと何件か話がきている。今後は、株式会社の参入についてどうしていくべきか検討していく。また、基金を活用できる条件も含めて公募条件を決定していく。 |
| 副委員長 | 保育士の確保について、人材育成も兼ねて公募と同時に進めていくべきではないかと思う。 |
| 事務局（宮里） | 今後、職員の採用についても検討していく。 |

以上